

## 【研究課題名：緩和ケアチームにおける薬剤師による処方関与の分析】

- ・研究期間：承認日（平成 30 年 1 月 16 日）～平成 30 年 5 月 31 日まで
- ・対象者：平成 28 年 4 月～平成 29 年 6 月に、栃木医療センターに入院された患者のうち、当院の緩和ケアチームにおいて診させていただいた患者
- ・目的：緩和医療の分野において、専門の緩和ケアチームが、がんと診断され早期から関与することで、患者の生命予後の延長が示されており、早期からの緩和ケアが望ましいとされています。薬剤師は緩和ケアチームにおいて処方提案することが多く、提案により患者・家族の QOL の向上に寄与していると考えられます。しかし、緩和ケアチームの薬剤師が処方提案したことで、患者・家族の QOL の向上に貢献したエビデンスはありません。今回、緩和ケアチームの薬剤師が処方介入した事例について分析し、どのような事例に多く提案しているのか、処方提案を必要とした因子について調査します。

### \*栃木医療センターに入院し、緩和ケアチームが診させて頂いた方へ\*

平成 28 年 4 月～平成 29 年 6 月に、栃木医療センターに入院された患者のうち、当院の緩和ケアチームにおいて診させていただいた患者を対象に、後ろ向きの研究を行っています。内容としては、いつから緩和ケアチームとして関わらせていただいたか、また、どのような症状の訴えがあり、私たちがどのような提案を実施したかを調査しています。

患者の診療録をもとに調査するものであり、患者に新たな負担がかかることはありません。また、研究の結果は学会や学術雑誌に発表されることがありますが、患者のプライバシーを十分に尊重し、個人情報公表されることはありません。

この研究への参加に同意されない方・詳しい説明を希望される方は、お手数ですが下記の連絡先までご連絡下さい。同意されない場合には、研究対象から除外させていただきます。なお、同意されない場合でも、診療上不利益を被ることはありません。

#### ◆本研究に関する連絡先◆

栃木医療センター 薬剤部

研究責任者：高田 知世

TEL：028-622-5241